

機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDNコード：70469000

スクリーン架 L 型 M（開閉）

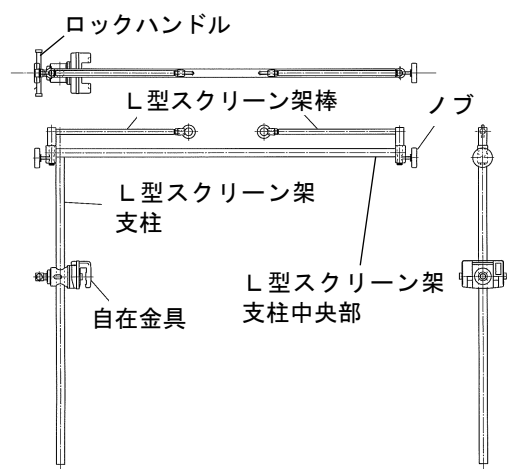
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製の高さ 32mm×板厚 9mm のサイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

- ①自在金具のロックハンドル操作により、L 型スクリーン架支柱を昇降させることができます。
- ②自在金具のロックハンドル操作により、L 型スクリーン架支柱を横方向及び縦方向に回転させることができます。
- ③ノブ操作によりスクリーン架棒を 360° 回転させることができます。
- ④許容負荷荷重：
L 型スクリーン架支柱中央部に 37N (3.7kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。（ただし、結露しないこと）
周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～75% 気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、麻酔時に頭部と手術部位の仕切り用として使用する。

【使用方法等】

1) 取付・設置（組立・据付）

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から L 型スクリーン架を差し込み、自在金具のロックハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②ロックハンドル操作で L 型スクリーン架の回転、固定及

び解除が正常に作動することを確認します。

- ③ノブを反時計回りに廻してスクリーン架棒を回転させ、ノブを時計回りに廻してスクリーン架棒を固定します。

2) 操作方法又は使用方法

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から L 型スクリーン架支柱を差し込み、自在金具のロックハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②ノブを反時計回りに廻してゆるめ、スクリーン架棒の回転角度を決め、ノブを時計回りに廻して固定します。
- ③L 型スクリーン架支柱を支えながら自在金具のロックハンドルを反時計回りに廻してゆるめ、L 型スクリーン架支柱の高さ及び角度を決めてからロックハンドルを時計回りに廻して固定します

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①自在金具が確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用しますと、機器が動いたり落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ②L 型スクリーン架支柱中央部に許容負荷荷重（37N）以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ③自在金具のロックハンドルを緩める際は必ず本機を支えながら行なうこと。機器が動いたり、落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ④使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール（70%）、4 級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム（0.1～0.2%）をご使用ください。
- ⑤金属腐食性の強い消毒液（ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど）は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・保管環境

周囲温度 -20～60℃ 相対湿度 10～90% 気圧 500～1060hPa

〈耐用期間〉

本機の耐用期間は 10 年です。（自己認証（当社データ）による）

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・ サイドレールへの接続状態の確認。
- ・ 外観の破損状態の確認。
- ・ 取付状態の確認。
- ・ 各部が正確かつ安全に固定及び解除できることの確認。
- ・ ゆるみ、ガタ、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行った後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラメディカル株式会社 TEL : 06-6499-3461
販売業者